

平成 30 年 4 月 25 日 (水)

## ないじえる芸術共創ラボ 古典インタプリタ日誌 ピーター マクミランさん WS 扇の草紙翻訳と英訳百人一首大会について

### 4回目のご来館／扇の草紙翻訳と英訳百人一首大会について

マクミランさん 4 回目のご来館は、平成 30 年度初回ということで、今後の方針についての打合せを行いました。

昨年度より、マクミランさんは「扇の草紙」とよばれる、絵と文字を一緒に鑑賞する形態の作品群に関心を抱いておられ、当館所蔵の卷子本『阿不幾集』(図 1)<sup>1</sup> および屏風『扇の草紙』(図 2)<sup>2</sup> の翻訳に取り組んでおられます。

図  
1



<sup>1</sup> 請求記号 99-73 新データベース・  
<https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/200006812/viewer>

図  
2



絵画と一緒に鑑賞できる形で紹介する作品を発表することを最終的な目標として、今年度も引き続き、2種類の扇の草紙の和歌の翻訳を行うことといたしました。

マクミランさんの翻訳は、ただ言語を置き換えるというのではなく、先行研究などをふまえて、解釈や鑑賞の在り方にこだわった訳が特徴です。より良い訳が出来るよう、様々な専門の研究者とワークショップを行い、解釈や鑑賞の背景について考えを深めながら、翻訳に取り組んでゆくこととなりそうです。

<sup>2</sup> 請求記号 99-151 新データベース・  
<https://kotenseki.nijl.ac.jp/biblio/200015700/viewer>

平成 30 年 4 月 25 日（水）

この成果は、12 月に行うワークショップにて公開する予定です。

また、「扇の草紙」には百人一首の歌も多く含まれています。マクミランさんは既に百人一首の英訳を出版しておられますが、「ないじえる芸術共創ラボ」の中で当館の教員とのワークショップを経て、更に工夫を重ねてこられました。

マクミランさんは英訳の百人一首カードを制作しておられるのですが、この成果を活かしてカードも改良しておられるとのことで、英訳カードを用いた百人一首大会も企画中です。